



電波時計(置時計)
取扱説明書
INSTRUCTION MANUAL

お買い上げいただきありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書はお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、時計裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をお伝えください。
例. 4RY000

製造販売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1804)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れてない。

禁止 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

禁止 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

禁止 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 火気のそば。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

禁止 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

禁止 ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解禁止 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

電池のご注意(電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期間」により、電池寿命が短くなる場合があります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
 - ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
 - 大理石を使用しているものは、ジュースなどの酸性液が付着すると損傷を与えます。付着したときは、からぶきしてよく落としてください。
- ※木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なる場合があります。また、経年劣化により色合いや艶が変化することがあります。

電池・製品の廃棄について

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と本体を分別してください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

標準電波の送信停止について

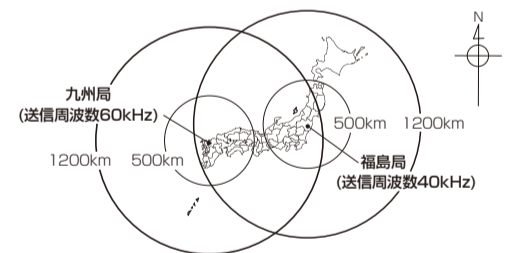
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

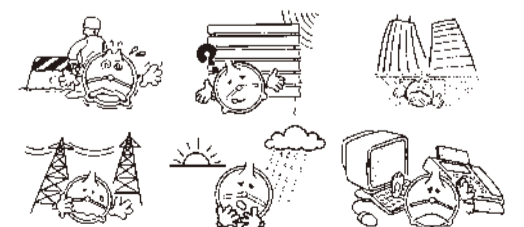


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

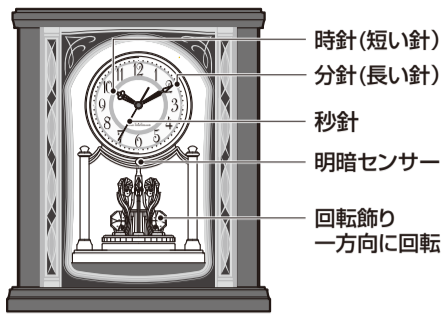


この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

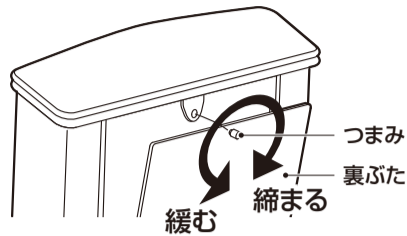
◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

(正面)

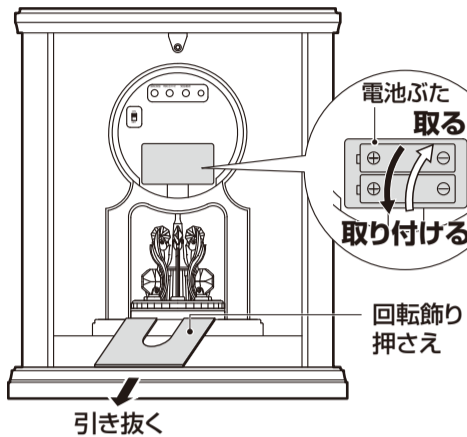


裏ぶたの取り付け/取り外し

取り外す:つまみを左に回して手前に引く
取り付け:裏ぶたの下部を先に入れて、つまみを右に回して締める



(裏ぶたを取り外した状態)



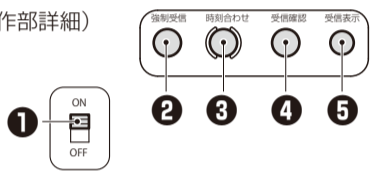
注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

単3形アルカリ乾電池 2個
電池ぶたを取り外して、電池を2個入れてから電池ぶたを取りつけます。

回転飾り押さえは、輸送時の衝撃から保護するものです。

使用するとき:必ず取り外してください。
輸送するとき:必ず取り付けしてください。

(操作部詳細)

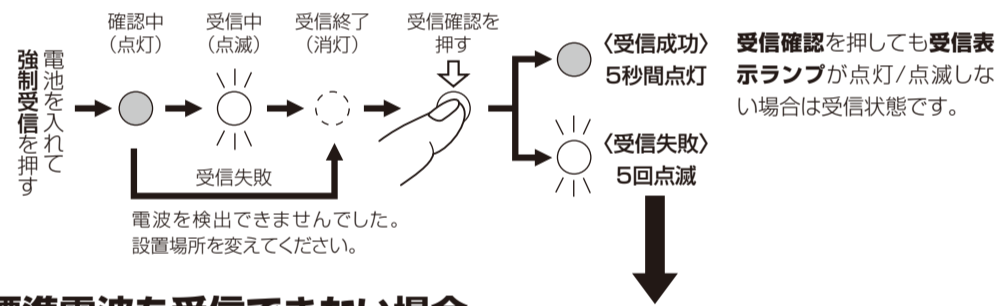


- ①電波受信スイッチ ON:電波を受信して時刻を修正。 OFF:電波を受信しません。
- ②強制受信 電池を入れた直後に押します。
- ③時刻合わせ 手動で時刻合わせをするときに使用します。不用意に押すと時刻が変わります。
- ④受信確認 押すと受信結果を受信表示ランプで表示。
- ⑤受信表示ランプ 受信状態や受信化を表示。 受信成功:5秒間点灯 受信失敗:5回点滅

針の動き……通常の時刻表示

時針・分針:10秒に1回動く。
秒針:1秒に1回滑らかに動く。
※自動受信により時刻を修正するとき
早送りや停止することがあります。

受信の流れと受信表示ランプの見かた



標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻を合わせて一晩そのままにしておくことを受信できる可能性が高くなります。1~2日後に受信結果を確認してください。
- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして時計の正面または裏面を電波の送信所に向くようにして**強制受信**を押してください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせてからご使用ください。電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※時刻合わせを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

- 操作**
- 時刻合わせを押してすぐに離すと1分進みます。
 - 時刻合わせを押し続けると早送りで動きます。
 - 時刻合わせを押し続けると秒針は12時位置に停止します。

秒は時刻合わせを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置に止まっていないときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

任意の時刻に設定してお使いになるときや誤受信しやすいところでご使用になるときは、**電波受信スイッチ**で電波受信機能をOFFにすることができます。

- ON:定期的に標準電波を受信。受信に成功すると時刻を修正する。
- OFF:電波を受信しません。時刻の遅れ進みは、手動で修正してください。
- 電波受信スイッチをOFFにして強制受信を押すと、ONのときと同様な状態になりますが受信をしません。必要に応じて手動で時刻を合わせてください。
- 電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信を押してください。
- 受信に成功した状態で電波受信スイッチをOFFにしても、受信表示ランプは最長で24~25時間点滅することがあります。

ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- ①裏ぶたを取り外す
- ②電波受信スイッチをONにする
- ③電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる
- ④強制受信を押す **受信の流れと受信表示ランプの見かた** 参照
受信表示ランプが点灯して受信を開始します。
※針は受信が終わるまで停止しています。
※電池を入れた後は、必ず強制受信を押してください。
※受信中はボタンを押さないでください。
- ⑤回転飾り押さえを取る
- ⑥受信開始から15分後に受信結果を確認する
受信が終わると針が早送りで移動して時刻を示します。
受信確認を押して**受信表示ランプ**で受信結果を確認する。
5秒間点灯:受信成功(正しい時刻)
5回点滅:受信失敗(不正確な時刻)→**標準電波を受信できない場合**へ
○受信は最長で15分程度行います。
○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて**強制受信**を押してください。
○**受信表示ランプ**は、24時間以内の受信結果を表示します。
- ⑦裏ぶたを取り付ける

設置について

時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。傾いたところに置くと、回転飾りが止まったり、滑らかに回転しなくなることがあります。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、受信表示ランプが消灯して秒針が12時位置に停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。

静電気の影響について

静電気により正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

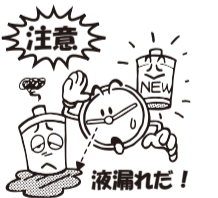
電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると明るいところでも秒針が12時位置で停止します。このような状態になりましたらお早めにすべての電池を新品に交換してください。

※時針と分針はこのような状態になってから1か月程度動きます。

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕などに費用が発生することがあります。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜない。



おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針±1秒以内	時針/分針	目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差±20秒		温度が5~35℃のときのクォーツ精度
使用温度範囲	-10~50℃ *結露なきこと			
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 2個			
電池寿命	約1年間 (標準電波の受信に成功し、1日当たり暗所で8時間暗所で秒針停止)			
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止			
電波受信機能	標準電波受信による時刻修正			
受信局	福島局、九州局自動選択			
受信ON/OFF	スイッチ切り替え			
受信回数	最少 1回/日 最多 12回/日			
受信開始時刻	2時、3時、4時各時間帯の16分40秒 順に受信を行い受信できたところで当日の受信を停止。72時間以上受信できないときは奇数時の16分40秒に受信を行う。			
回転飾り	一方向回転 装飾用			
防滴防塵機能	なし			

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 2個、取扱説明書 本書、保証書 1枚